



坂本小のめざす3つの子

「学ぶ子」「やさしい子」「元気な子」

「学ぶ子」とは・・・

坂本小学校の「学ぶ子」は、「一生懸命勉強する子」「しっかり発言できる子」「探求心がある子」「自ら課題を解決しようとする子」「たくさん本を読む子」等です。教科書を中心とした基礎学力を身に付けることはもちろんのこと、様々な生きた体験を通して自ら課題を見つけ、それを解決しようとする姿勢を持つことが大切です。よく「学ぶ子」は、学んだことを自分の生活の中によりよく生かそうとする知恵のある子でもあります。



「学ぶ子」をめざして

「学ぶ子」の実現のためには、言語環境を整え子どもの読書力を高めることが大切です。「坂本小で読む108冊の本」を中心として、「読書活動」を一層推進していきます。日記指導も継続していきます。基礎学力の向上を目指し、朝の時間を有効に生かした「漢字・算数チャレンジ学習」も引き続き実施します。また、授業における個に応じたきめ細かな指導を心がけると共に、「豊かな体験」に伴う環境・福祉領域での総合的な学習も導入していきます。

「元気な子」とは・・・

学ぶ意欲と、優しい心を持つ「元気な子」が最終的な目標です。健康で丈夫な子どもに育っていくためには、基本的な生活習慣ををしっかり身に付ける必要があります。好き嫌いをしないで何でも美味しく食べる子は、身体も丈夫で健康な子どもに育ちます。元気に身体を動かし、時には厳しいトレーニングを課しながら、体力や持久力を増進していく小学生時代を過ごしてほしいと願っています。



「元気な子」をめざして

「元気な子」は、早寝早起きができてしっかりと食事がとれる子どもです。本校でも、テレビやゲームのやり過ぎの弊害が問題になっていますが、学級活動等で正しい生活習慣について考えていきます。体力向上に関しては、体力測定等の結果をもとに、新たな体力づくりの取り組みを導入します。「食にかかわる教育」も学校保健委員会を中心として、さらに充実・発展させていこうと考えています。

「やさしい子」とは・・・

「やさしい子」は、思いやりの心を持ち、みんなと仲良くできる子です。悪口を言わない・いじめをしないのはもちろんですが、人が困っている時、それを見過ごさないで勇気を出して声をかけてあげられる子・差別を見て見ぬ振りをしない正義感のある子どもです。小さい集団ですが、仲間どうし助け合って生活してあげることが一番の願いです。



「やさしい子」をめざして

「やさしい子」の実現のためには、正しい言葉遣いや明るいあいさつの励行が基本となります。学校全体に元気なあいさつの声が響くように努めます。人権教育の常時指導に力を入れ、「思いやりの木」の取り組み等を通して、お互いを尊重し合う指示的風土を醸成します。また、子どもたちの学校生活を注意深く見守り、いじめをしない、させない指導にも力を入れていきます。